

小山工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	建築計画 I B	
科目基礎情報							
科目番号		0025		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		建築学科		対象学年		3	
開設期		後期		週時間数		2	
教科書/教材		日本建築学会「コンパクト建築設計資料集成 第3版」丸善、実教出版「建築計画」					
担当教員		崔 熙元					
到達目標							
1、住宅の基本的な寸法体系を説明できる 2、住宅地・都市の計画が説明できる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
		住宅の基本的な寸法体系を明確に説明できる		住宅の基本的な寸法体系を説明できる		住宅の基本的な寸法体系を説明できない	
		住宅地・都市の計画が明確に説明できる		住宅地・都市の計画が説明できる		住宅地・都市の計画が説明できない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ③							
教育方法等							
概要		建築計画について					
授業の進め方・方法		授業方法は講義形式とする					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	住居の歴史		住居の歴史を理解する		
		2週	家事労働・キッチンの形態・住居のバリアフリー		家事労働・キッチンの形態・住居のバリアフリーを理解する		
		3週	公営住宅標準設計51C型の成り立ちから、建築計画の手法を学ぶ		公営住宅標準設計51C型の成り立ちから、建築計画の手法を理解する		
		4週	食寝分離論の提唱からダイニングキッチンの成り立ちを学び、現代の台所計画を学ぶ		食寝分離論の提唱からダイニングキッチンの成り立ちを学び、現代の台所計画を理解する		
		5週	都市部の独立住宅の計画手法を学ぶ		都市部の独立住宅の計画手法を理解する		
		6週	農村部の住宅の成り立ちと今後を建築計画の視点から考える		農村部の住宅の成り立ちと今後を建築計画の視点から考え理解する		
		7週	SI・コーポラティブハウス・リノベーション・モジュール		SI・コーポラティブハウス・リノベーションを理解する		
		8週	中間試験		これまでの範囲を理解する		
	4thQ	9週	都市計画（都市計画法・再開発・都市計画理論）		都市計画（都市計画法・再開発・都市計画理論）を理解する		
		10週	住宅地計画（分類・高さ・密度・形態）		住宅地計画（分類・高さ・密度・形態）を理解する		
		11週	高層住宅のアクセス方式・低層住宅の交通問題		高層住宅のアクセス方式・低層住宅の交通問題を理解する		
		12週	近隣住区論		近隣住区論を理解する		
		13週	ニュータウンについて		ニュータウンについて理解する		
		14週	高層建物・移動・避難計画・マンション管理		高層建物・移動・避難計画・マンション管理について理解する		
		15週	定期借地権・アーバンデザイン・地域計画		定期借地権・アーバンデザイン・地域計画について理解する		
		16週	定期試験		これまでの範囲を理解する		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	現代社会における都市計画の課題の位置づけについて説明できる。		3	
				近現代都市の特質と課題について説明できる。		3	
				市街地形成と都市交通のあり方について説明できる。		3	
				街路計画の手法と理念について説明できる。		3	
				日本の土地利用計画の仕組みについて説明できる。		3	
				方法・制度の変遷について説明できる。		3	
				景観形成・風景計画、用途・形態規制の仕組みについて説明できる。		3	
				市街地を開発する仕組みについて説明できる。		3	
				土地区画整理事業について説明できる。		3	
				市街地再開発事業について説明できる。		3	
				地区計画制度について説明できる。		3	
				建築協定・緑化協定などの住民参加・協働のまちづくりの体制について説明できる。		3	

				モジュールについて説明できる。	4	
				建築設計に関わる基本的な家具をはじめとする住設備機器などの寸法を知っている。	4	
				居住系施設(例えば、独立住宅、集合住宅など)の計画について説明できる。	3	
				建築計画・設計の手法一般について説明できる。	3	
				原始(例えば、竪穴住居、高床建築、集落など)の特徴について説明できる。	3	
				古代(例えば、住宅建築、寝殿造、都市計画、神社建築、寺院建築など)の特徴について説明できる。	3	
				中世(例えば、住宅建築、神社建築、寺院建築(大仏様、禅宗様、折衷様など))の特徴について説明できる。	3	
				近世(例えば、住宅建築、書院造、数寄屋風書院、町屋、農家、茶室、霊廟、社寺建築、城郭)の特徴について説明できる。	3	
				都市・地区・地域・建築物の規模に応じた防災に関する計画、手法などを説明できる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	0	0	0	30	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0